

法政大学(学部入学定員:6,040人)

[取組学部・研究科等:GIS(グローバル教養学部)(50人)、国際文化学部(240人)]

【構想の目的・概要・育成するグローバル人材像】

これまで本学で実践されてきたグローバル人材育成カリキュラムの枠を広げ、全学的に展開する英語強化プログラム(ERP)を通じて高い英語力を培った学生にその門戸を開放することで、より多くのグローバルリーダーを育成しようとするものです。本構想では、新たに日本人としてのアイデンティティを高め、自ら異文化社会に踏み出すチャレンジ精神を育成するための実践的プログラムを加味することで、これまで以上に高いレベルのグローバル人材育成を目指しています。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

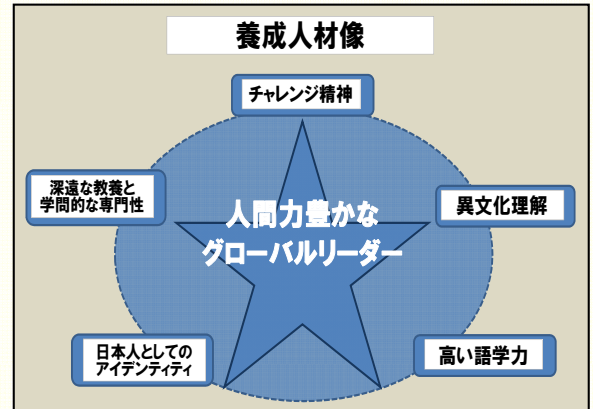
全学的に展開する英語強化プログラム(ERP)、多言語 e-Learningにより、GIS(グローバル教養学部)(以下、GIS)および国際文化学部における、グローバル人材育成カリキュラムの受講枠を拡張し、より多くの学生が国際通用性の高い教育課程を履修することができるようにします。新たに、日本人としてのアイデンティティ教育、国際ボランティア・国際インターンシッププログラムを加味した、より高いレベルの人材育成プログラムを設置するとともに、英語をはじめとした言語イマージョン環境を提供し、全学のグローバル化を推進します。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

従来から、学生に関する基本的な情報、教育課程とその水準、研究成果の生産性や水準、大学としての戦略、留学生に関する情報については、大学ホームページを通じて英語にて情報公開を行ってきました。本プログラムの一環として、現在、日本語により公開している項目についても、順次、英語、中国語、韓国語により情報を公開していく予定です。

○ 事務体制のグローバル化

新たに、「グローバル人材開発センター」を設置し、本プログラム実施における統括的な役割を果たすとともに、大学全体のグローバル化への施策を担います。更に、海外大学との連携、学生の海外派遣に対する支援、グローバル企業への就職サポートを強化します。



■ グローバル人材として求められる能力の育成

育成する人材の持つべき資質と能力	これを実現するための教育カリキュラムの内容・方法
■ チャレンジ精神・積極性・使命感 常に新しい問題に積極的にチャレンジすることができる 異なる文化環境においても生活ができ、そこで仕事ができる	問題発見・課題解決型の対話や討論を中心とした授業 海外留学・海外ボランティア・海外インターンシップ
■ 異文化理解力 自分の文化と異なる習慣、民族、宗教などに対する知識をもって、理解し協働することができる	学部教育課程における海外留学 海外留学生と共に学びながら異文化交流を体験
■ 情報収集力と発想力 グローバルな視点から情報を集め、偏りのない発想ができる	メディア・リテラシーを踏まえた情報収集・解析能力を向上させる課題解決型授業
■ 高い語学力とコミュニケーション能力 高い語学力があり、自由にコミュニケーションをとることができる	すべての授業科目を英語で実施 英語強化プログラム(ERP)の達人 英語ラウンジにて言語イマージョン環境を提供 諸外国語でイマージョン教育を実施
■ 日本人としてのアイデンティティ 母国の歴史、文化、社会、習慣などを適切に論理的に説明することができる	留学生と共に日本について学ぶ講義群と体験型学習
■ 深遠な教養と専門能力 自分の考えを明快に説明できる 自ら課題を発見し解決することができる	多様な教養・専門科目群の展開 ディスカッションなどを中心とした少人数双方向教育 課題解決型の授業

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

GISにて、2013(平成25年度)から導入する「秋季入学自己推薦入試」においても、これまでと同様、中等教育段階までの外国語力を評価します。また、現行の自己推薦入試と同様に、英語面接を重視するとともに、狭義の学業だけでなく、文化・スポーツ活動やボランティア活動等も重要な評価対象とします。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

GISが掲げる「英語イマージョン教育」の効果さをさらに高め、他学部生への波及効果を高めるために、教員からの一方的講義ではなく、教員と学生間、学生同士の積極的なコミュニケーションを基礎とした、双方向授業を実施します。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

GISでは、国際公募を行うとともに、選考の過程で教育現場に必要とされる語学力の有無を確認するため、英語による模擬授業を課し面接を実施し、グローバル人材育成に相応しい教員採用を行っています。

○ グローバル教育力向上

FD活動を通じて、これまで以上に大学のミッションの明確化や質保証の取組の国際標準化を推進していきます。あわせて、大学プロファイルの作成・公表等による大学のミッションの明確化や授業科目の体系化、ディプロマ・サプリメント等を活用した質保証のための取組について国際標準化を図ります。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

留学に関する情報提供を強化し、派遣先の授業料が全額免除され、そのうえ奨学金が支給される本学独自の「派遣留學生制度」を広く学生に伝え留学を促進させます。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

eポートフォリオによる教員との連携体制を確立させます。また、留学中から帰国後の就職支援として、国際キャリア支援プログラムを置き、国内外の企業への就職支援および海外でのキャリア計画を支援していきます。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

プログラムに関わった学生が卒業時に修得すべき能力は、本学が設定したグローバル人材として求められる能力と同等としています。また、語学能力については所属学部別に以下のとおりです。

■GISに所属する学生

1年次修了時におけるTOEFL iBT®のスコアを、1学年平均で80（PBT/ITP換算で550相当）程度。その上で、卒業時の到達すべきスコアをTOEFL iBT® 90以上を目標とします。

■GIS以外の学部所属する学生

学生の卒業時に修得すべき英語運用能力については、GIS以外の学部所属する学生にとって意味のある英語運用能力としてTOEFL iBT® 80を目標とします。

■英語以外の外国語に秀でた学生

国際文化学部では、卒業時における諸外国語運用能力の育成を海外大学での正規授業を理解できるレベルとし、各言語別に基準を設けています。

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				27人	30人	36人	51人
うち海外留学未経験者数 (A)				4人	4人	5人	8人
海外留学経験者数 (B)		102人	98人	123人	117人	105人	116人
卒業〔予定〕者数 (C)		119人	119人	183人	148人	137人	159人
比率 ((A+B)/C)				69.4%	81.8%	80.3%	78.0%
GIS 分科 （ハル教養学部）	卒業時の外国語力スタンダード	TOEFL・iBT90		14人(4)	12(4)	14人(5)	21人(8)
	海外留学経験者数	6人	20人	20人	17人	18人	23人
	卒業〔予定〕者数	23人	41人	80人	48人	50人	66人
国際文化学部 （ドイツ語）	卒業時の外国語力スタンダード	独検2級以上		4人(0)	3人(0)	4人(0)	6人(0)
	海外留学経験者数	31人	18人	25人	14人	16人	18人
	卒業〔予定〕者数	31人	18人	25人	14人	16人	18人
国際文化学部 （フランス語）	卒業時の外国語力スタンダード	TCF200-299		2人(0)	3人(0)	3人(0)	5人(0)
	海外留学経験者数	20人	12人	19人	21人	18人	16人
	卒業〔予定〕者数	20人	12人	19人	21人	18人	16人
国際文化学部 （スペイン語）	卒業時の外国語力スタンダード	DELE B2以上		2人(0)	3人(0)	3人(0)	5人(0)
	海外留学経験者数	18人	19人	21人	18人	12人	17人
	卒業〔予定〕者数	18人	19人	21人	18人	12人	17人
国際文化学部 （ロシア語）	卒業時の外国語力スタンダード	ТРКИ基礎級以上		1人(0)	3人(0)	3人(0)	3人(0)
	海外留学経験者数	5人	9人	5人	11人	9人	8人
	卒業〔予定〕者数	5人	9人	5人	11人	9人	8人
国際文化学部 （中国語）	卒業時の外国語力スタンダード	新HSK5級以上		3人(0)	4人(0)	5人(0)	7人(0)
	海外留学経験者数	9人	12人	24人	23人	18人	22人
	卒業〔予定〕者数	9人	12人	24人	23人	18人	22人
国際文化学部 （朝鮮語）	卒業時の外国語力スタンダード	ハングル検定準2級以上		1人(0)	2人(0)	4人(0)	4人(0)
	海外留学経験者数	13人	8人	9人	13人	14人	12人
	卒業〔予定〕者数	13人	8人	9人	13人	14人	12人

※1)「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示している。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。